令和７年度　探究型（みらとび）入試

桐蔭学園　中等教育学校　学力検査問題

総合思考力問題

令和７年２月１日　施行

注意事項

１．この冊子(さっし)が配られたら、以下の注意点をしっかりと確認してください。試験開始のチャイムがなるまで、冊子を開いてはいけません。

２．机の上には、えんぴつ・シャープペンシル・消しゴム・受験票・座席券・時計以外のものを置いてはいけません。受験生どうしの貸(か)し借(か)りもできません。また、机の中には何も入れてはいけません。

３．スマートフォンは、必ず電源を切って、かばんの中に入れておいてください。

４．問題冊子の印刷(いんさつ)が見えづらかったり、ページが不足したりしている場合、また、えんぴつなどを落としたり、体の調子が悪くなったりした時は、だまって手をあげてください。

５．問題冊子のあいているところは自由に利用してかまいませんが、どのページも切りはなしてはいけません。

６．解答する際は、小学校で習わない漢字をひらがなで書いてもかまいません。

７．問題は７ページまであります。

８．問題冊子は持ち帰ってください。

９．**試験開始のチャイムの後に、説明のための動画が流れます。**

探究ミッション

「廃校を活用して、地域の人たちに役立つ場所にしよう！」

Ⅰ　探究ミッションについての説明

我が国では、都市や地方に関係なく全国各地で廃校が発生しています。その校舎は、地域にとって貴重な財産です。そこで文部科学省は、廃校を活用して地域を活性化する「『みんなの廃校』プロジェクト」に取り組んでいます。あなただったら、廃校になった小学校のどのような施設を使って、地域のどのような人たちを対象にした、どのような活用を提案しますか。そのアイディアを「課題」として設定し、課題解決のためのあなたの考えを記してください。

廃校になった小学校の施設は、示された小学校校舎図を参考にしてください。また、校舎は、桐蔭学園（横浜市青葉区鉄町（くろがねちょう））の場所にあると想定してください。

この後に流れる動画や提示された資料を参考にして解答しましょう。解答の際は、「解答用紙の書き方」を参考にしてください。

【資料Ⅰ～6】

資料Ⅰ：地理院地図（廃校になった小学校所在地周辺の状況）
資料２：青葉保育所等マップ 2024（廃校になった小学校所在地周辺の状況）
資料３：第４期青葉区地域福祉（ふくし）保健計画（廃校になった小学校所在地周辺の状況）
資料４：横浜市青葉区・令和４年度青葉区区民意識調査 調査結果報告書『将来の青葉区のまち』（意識調査）
横浜市・令和５年度横浜市民意識調査『今後の横浜のまち』（意識調査）
資料５：『新データで読む地域再生 「人が集まる県・市町村」はどこが違うのか』（書籍）
資料６：読売新聞「温かい交流の場に」（新聞記事）

＊解答の際にすべての資料を使用する必要はありません。

2 探究ミッションのステップ（解答用紙の書き方）

解答用紙には、「現状」「課題」「解決策」「今後の課題」を、一連のつながりをもって書きましょう。各項目に対する解答を記す際、参考にした資料がある場合は（資料１）といった形で出典を記しましょう。

「**現状**」…資料を参考にして、この地域についての情報をまとめましょう。このとき、複数の資料を参考にすることが望ましいです。

「**課題**」…地域の人たちに役立つ場所にするために、「現状」から地域が抱える問題点を見つけましょう。それをふまえて、解決すべき「課題」を設定してください。

「**解決策**」…自分で設定した「課題」に対して、廃校になった小学校のどのような施設を使って、地域のどのような人たちを対象にした、どのような活用をするのかを具体的に提案しましょう。ただし、校舎のみを活用することとしますが、校舎すべてを使わなくてもかまいません。

「**今後の課題**」…先に述べた「解決策」を実現に近づける際に発生することが予想される問題について、その解決のためにさらに調べたいことを記しましょう。

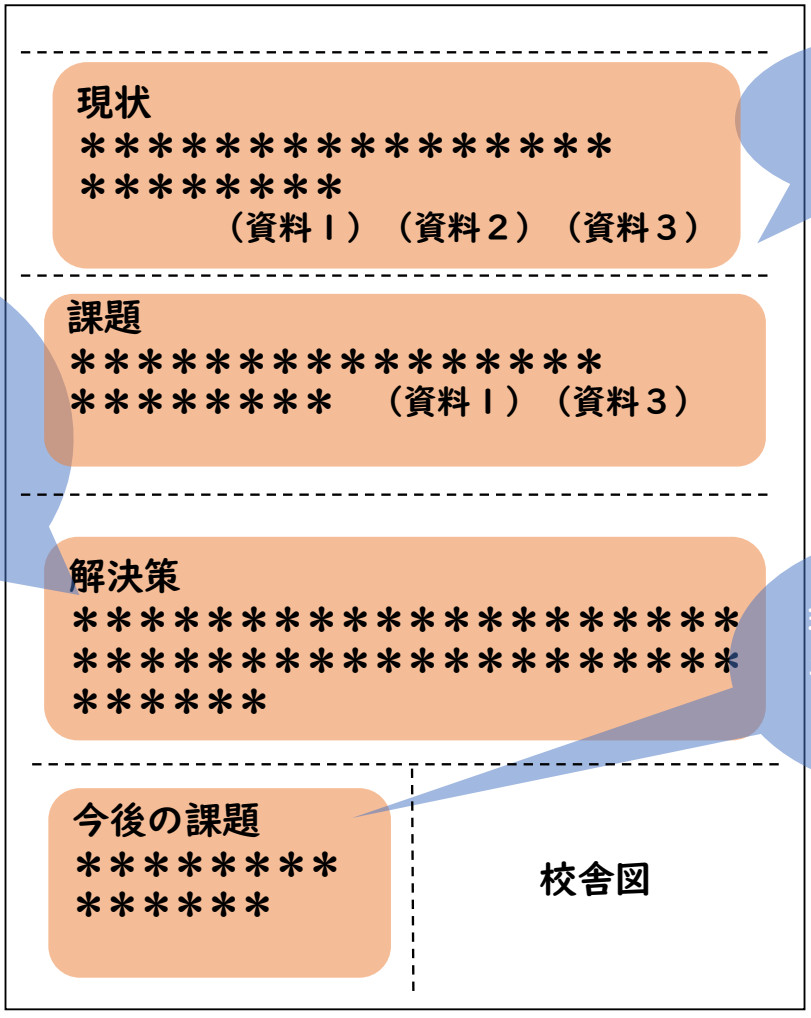
＊解答する際の約束と注意点

・解答用紙への記入方法は自由です。
・あなたの考えがわかりやすく伝わるように、箇条書（かじょうが）きや矢印、イラストを使ってもかまいません。
・この冊子、資料１～６のどこにメモを取ってもかまいません。上手に情報を整理しましょう。
・試験（しけん）時間は 50 分間（そのうち動画視聴（しちょう）が約 10 分）です。おすすめの時間配分は、以下の通りです。
  ◆資料を読み、考えをまとめる〔約 20 分〕
  ◆解答用紙に記入する〔約 18 分〕
  ◆最後の見直しを行う〔約 2 分〕

動画資料の一部

※以下は、動画資料の一部です。
解答の際の参考にしてください。

解答用紙書き方の例①



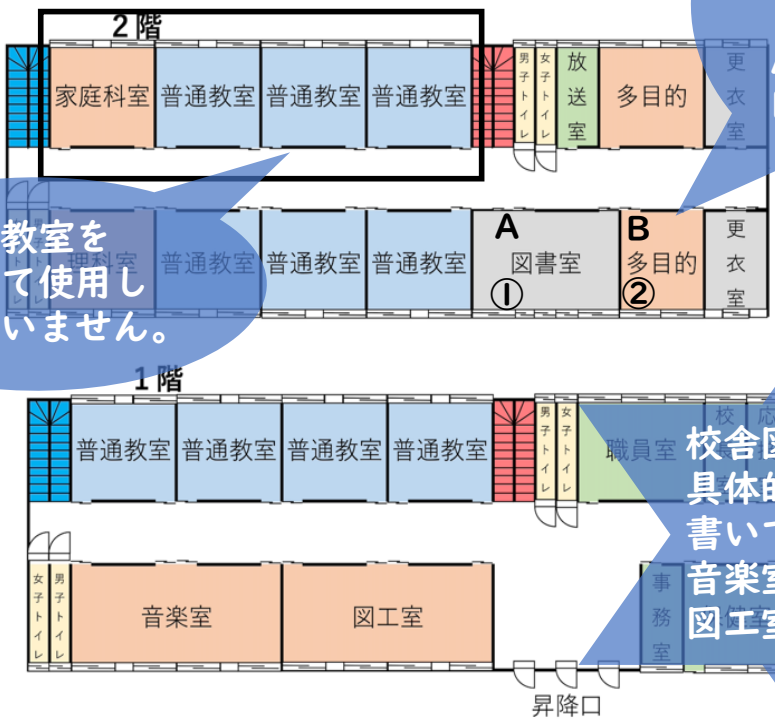
解答用紙書き方の例②

「現状」　「課題」
「解決策」
「今後の課題」
のすべてが一目でわかるように書きましょう

自由記述

校舎図

解答用紙での校舎図の使用例



教室に数字やアルファベットを書いて使用しても構いません。
Aは＊＊＊
Bは＊＊＊

複数の教室をまとめて使用しても構いません。

校舎図を使わずに具体的な教室名を書いても構いません。
音楽室は＊＊＊
図工室は＊＊＊

今、社会の形が変わってきている。
（インターネットの普及、少子高齢社会など）

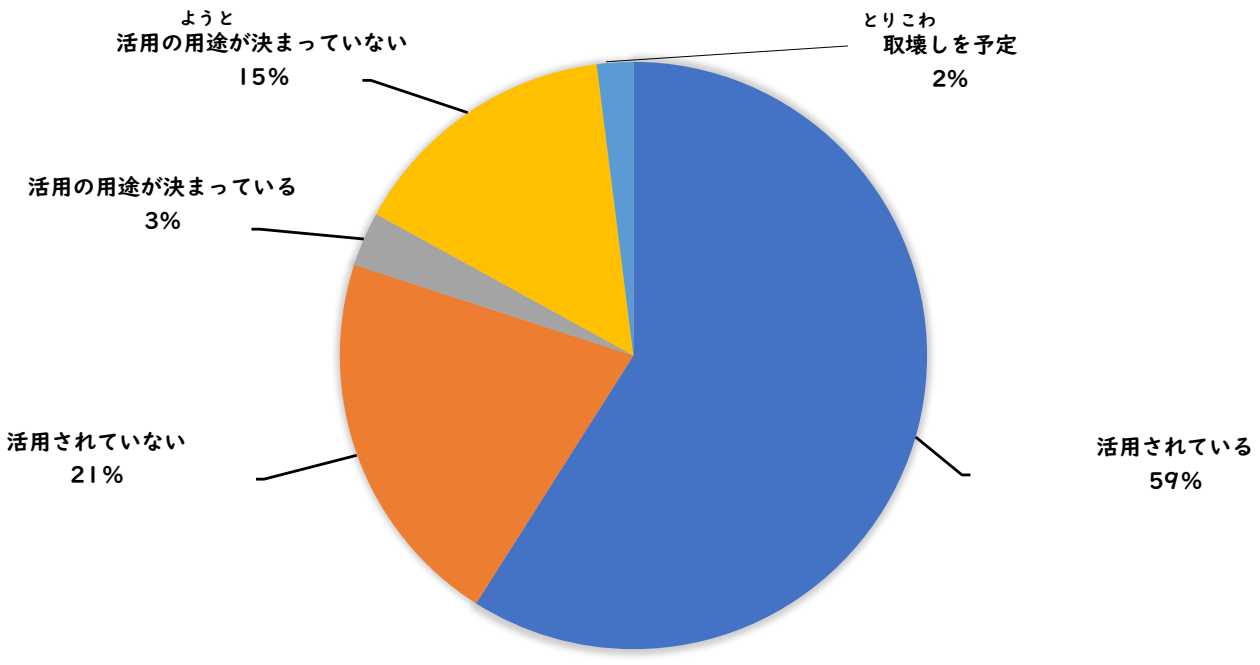
・地方で、過疎化が進んでいる。

・都市部でも、児童数が減っている。

・地域のニーズに合わせて、施設の活用が求められている。

全国では毎年約450校程度の廃校施設が生じています。

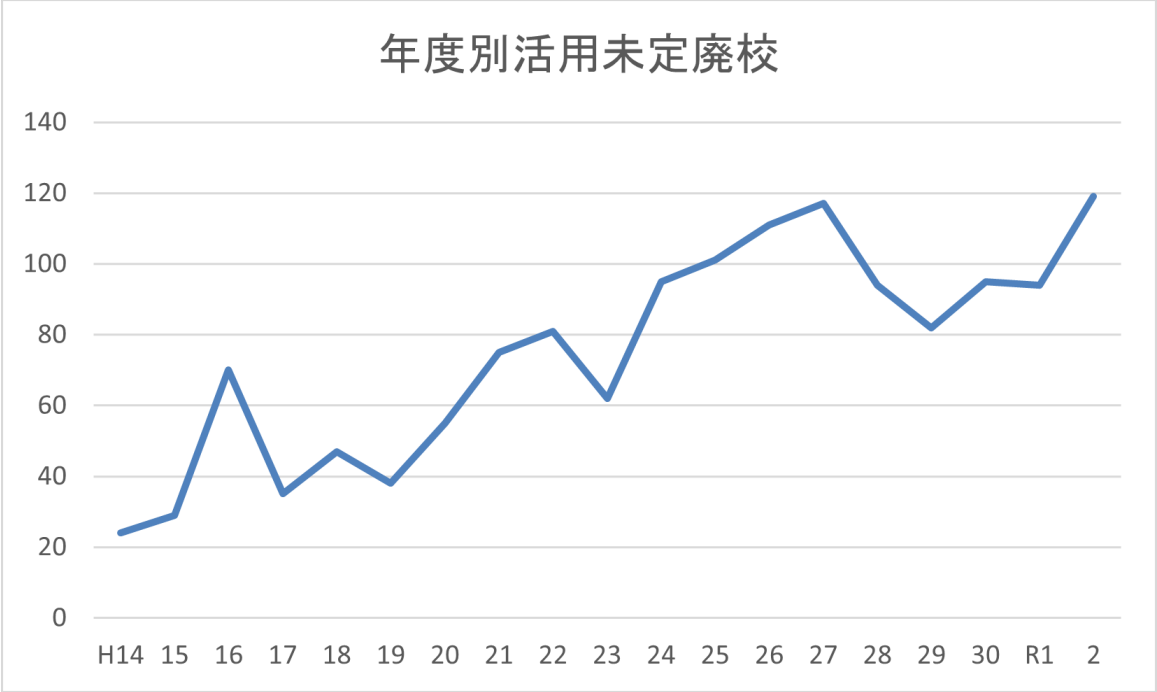
廃校延べ数8500校の活用状況



文部科学省
「令和3年度公立小中学校等における廃校施設および余裕教室の活用状況について」

廃校の活用に向けた状況等

年度別の活用の用途が決まっていない廃校の数



文部科学省
「令和3年度公立小中学校等における廃校施設および余裕教室の活用状況について」

「鳥海山 木のおもちゃ館」

秋田県由利本荘市「鳥海山 木のおもちゃ館」
（「施設紹介」https://chokaisan-wtm.jp/floorguide/ 2024年8月4日最終閲覧）

「チョウザメ養殖（ようしょく）」

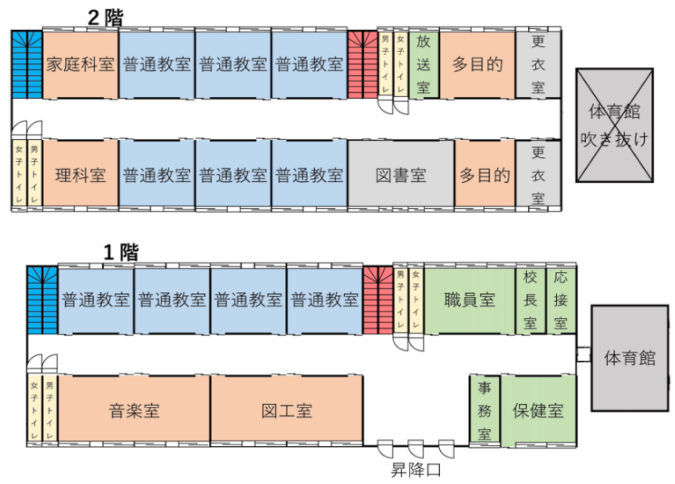
株式会社トキタ（茨城県（いばらき））「チョウザメ養殖」
（https://kf-tokita.com/business01/、2024年8月4日最終閲覧）

総合思考力問題解答用紙

教室番号	座席番号	受験番号	氏　　名

◆探究ミッション「廃校を活用して、地域の人たちに役立つ場所にしよう！」

次の太線枠内に「現状」「課題」「解決策」「今後の課題」が分かるように自由に書いてください。



※この線より下は、記入しないこと。

	1	2	3	4	5	6
S						
A						
B						
C						

※